

はじめに

近年、わが国では人口減少、少子高齢化による家族形態の変化、就労の多様化、コミュニティ意識の希薄化など子育てを取り巻く環境が大きく変化をしています。このような中、子育て支援に関するニーズも多様化しており、社会全体で子どもと子育て家庭を支援するための新たな支え合いの仕組みづくりが求められるところです。

こうした時代の要請を背景として、当町では小学校区の地域コミュニティを中核とした町、保護者、町民、学校、地域団体等による「共働のまちづくり」により子どもと子育て家庭を支援する取り組みを進めてまいりました。しかしながら、本来、子育てに関し、様々な情報交流や相談業務など、密接な関係にある「子育て」と「教育」の有機的な連携を図ることが、体制的に難しい面もあったため、令和2年1月に実施しました行政組織機構の再編により、従来の子育て部門と母子保健部門を統合した「こどもみらい課」を創設し、教育委員会部局に編入することにより、妊娠、出産、子育て、幼児教育、保育、義務教育までの一貫した支援体制を整備したところです。

また、こういった取組等を具体的に推進していくため、この度、令和2年度から令和6年度を計画期間とする「第二期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。本計画により、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の実施、児童虐待防止対策の取組その他の制度の施行状況や関連施策の動向を反映させて更なる子育て支援の充実を図ってまいります。

この宇美の地には、安産祈願で知られる宇美八幡宮があり、古くから子安という子どもを大切に育む文化が根づいています。本年は町制が施行されてから100年という節目を迎えています。これまでのこういった子育ての風土を継承し、次の100年に向けて発展していくためにも、今後とも「産み育てる町 宇美」を目指したまちづくりを推進してまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本計画を策定するにあたり、貴重なご意見ご提言をいただきました「宇美町子ども・子育て会議」委員の皆様をはじめ、ニーズ調査や意見募集に際し貴重なご意見をお寄せいただきました町民の皆様や関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。



令和2年3月

宇美町長 木原 忠